

○豊田市（単年度モデル）

1 豊田市の特徴

- 豊田市、医師会、歯科医師会により設置された「公益財団法人豊田地域医療センター」において、以前から在宅医療の推進に取り組んでいる。
- 中学校区ごとに地域包括支援センターが整備されている。
- 平成の市町村合併により、市域が大きく拡大し広大な中山間地が含まれる。

2 モデル事業の対象地域

梅坪台中学校区（人口26,290人 高齢化率13.5%）

3 平成26年度の主な取組状況等

分野	項目	実績	成果・課題	分野	項目	実績	成果・課題
関係機関のネットワーク化	関係機関連絡会議（地域包括ケアシステムを構築していく上で必要な対策や地域課題等の解決に向けた対策の検討）	○豊田市高齢者支援ネットワーク会議 【開催数】：2回 【構成員】：医師会、歯科医師会、薬剤師会、自治区長、民生委員、老人クラブ、介護サービス事業者、弁護士、警察署、地域自立支援協議会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、メディカルソーシャルワーカー、ささえあいネット登録機関	○ 関係機関連絡会議では、豊田市の高齢者を取り巻く現状等について共有するとともに、ブロック地域ケア会議や地域包括支援センター業務を通じて出てきた「高齢者の見守り」、「認知症」に関する問題・課題を基にした意見交換を通じて、それぞれの団体の立場における取組状況や支援策について意見交換し、情報共有ができた。	医療と介護の連携	在宅医療等の普及啓発	○豊田市在宅医療シンポジウム 【参加者】：88名 【内容】：在宅医療を支える人材育成と連携促進について ○家庭で出来る看護（市民向け看護教室） 【開催数】：2回 【テーマ】 ・認知症の話 ・家庭でできる看護教室～「生活の場」の選択～ ○市民向け「在宅医療リーフレット」（作成中）	○ シンポジウムには、多くの方（特に医療関係者）に参加していただくことができた。 講師として在宅医療に携わる医師や訪問看護師を迎え、在宅医療を支える人材育成やICTについて講演していただき、参加者に在宅医療の現状と重要性について理解を深めていただくことができた。 ○ 市民向けの「在宅医療リーフレット」を作成中であり、今後はイベント等で配布し、在宅医療の普及啓発を実施する。
	地域包括ケア関係者の研修	○基幹包括支援センターにて、各地域包括支援センター職員を対象に、研修会を開催し、地域ケア会議の運営方法について講義を実施	○ 研修会や意見交換会を通じて、地域包括ケアにおける地域ケア会議の位置づけとその重要性についての理解が深まり、職員の意識向上を図ることができた。				
医療と介護の連携	在宅医療連携協議会（多職種連携の課題の抽出と解決策の検討）	○在宅医療推進委員会 【開催数】：3回 【構成員】 医師会、基幹包括支援センター、豊田地域医療センター、豊田市等 ○医療機関とケアマネ間等の連携強化検討部会 【開催数】：3回 【構成員】：医療・介護関係者 ○疾病マネジメント部会 【開催数】：4回 【構成員】：医療・介護関係者	○ 在宅医療推進委員会では、多職種連携のための研修プログラムや緊急時の受入可能な後方支援病床確保等の在宅支援制度について、各部会では、イベントや研修の内容、患者の在宅支援や退院支援について検討した。これらの検討を通じて、在宅医療に必要な取組や多職種間の顔の見える関係の必要性について、意識を高めることができた。	平成27年度以降の取組		○ 豊田市高齢者支援ネットワーク会議（関係機関連絡会議）及びブロック地域ケア会議については、平成27年度以降も引き続き開催していく。 ○ 地域ケア会議については、全地域包括支援センターで一定程度開催できるように研修会で検討していく。 ○ 在宅医療推進委員会（在宅医療連携協議会）は引き続き開催し、在宅医療支援機能の検討及び実施を進めていく。	
	ICT等を活用した患者情報の共有	○在宅医療連携協議会での導入に向けた検討を実施。	○ 多職種研修では、訪問看護ステーション同行研修や意見交換会を開催し、訪問看護に関する理解が深められたと同時に今後の連携を促すことができた。				
	在宅医療等に従事する多職種の研修	○訪問看護ステーション同行研修及び意見交換会の開催 ○介護支援専門員勉強会					